

今月の



隣に伝えたい 新たな言葉と概念

【嚥下調整食】

英 Swallowing modified diets

類 嚥下訓練食 (Swallowing training diets). 嚥下食 (Swallowing food)

【用語解説】

嚥下調整食は、飲み込みや咀嚼に機能の低下がみられる場合に、レベルに合わせて飲み込みやすいように形態やとろみ、食塊のまとまりやすさなどを調整した食事のことである。

嚥下調整食は統一基準や統一名称がなかったために、施設や地域ごとに多くの名称や段階（硬さ・形態・とろみ）が混在していた。このことから摂食・嚥下障害者の不利益となっていた。

平成28年度の診療報酬改定において、摂食・嚥下機能の低下している患者や家族への栄養食事指導の重要性から、摂食機能又は嚥下機能が低下した患者は個別栄養食事指導加算の対象となった。平成30年度は摂食嚥下機能低下に対する取り組みとして栄養管理計画書に嚥下調整食の必要性の有無と対象コードの記載が追加されることとなった。嚥下調整食を日本摂食嚥下リハビリテーション学会の学会分類2013に基づき段階コード化（0j～4）することにより、食事基準の嚥下調整食（食事およびとろみ）を共通して認識できるようになった。この情報により、摂食・嚥下障害者が施設等を移動しても、安全に食事が出来るようになった。

その他必要事項（本用語とつながりの深い専門分野、関連学会など）：

嚥下食ピラミッド、摂食機能療法、嚥下造影検査（VF）、嚥下内視鏡検査（VE）、発達期摂食嚥下障害児（者）のための嚥下調整食分類2018、日本摂食嚥下リハビリテーション学会、日本嚥下医学会、日本摂食嚥下障害看護研究会

（国立病院機構横浜医療センター 矢ヶ崎 栄作）

本誌403pに記載